

※新聞記事のレイアウトを一部変更しております。

【質問】新年度から学校健診が変わると聞きました。どのように変わるのでしょうか。

(34歳主婦)

## 学校で運動器健診

【回答】2014年4月に学校保健安全法施行規則の一部が改正され、保健調査を小中高校、高専では全

学年で実施し、幼稚園と小学では必要と認めるときに行うこととなりました。そしてこの4月から新たに学校健診で児童・生徒に四肢の状態の検査(運動器健診)を行うこととなります。従来も児童・生徒には側わん症検診が行われていたが、全ての運動器が対



## 体の動きなど6項目調査

### 肥満やスポーツ障害を予防

しかし、学校健診を担う学校医は、小児科や内科の医師であることが多いのが

います。チェック形式で、先の6項目に加え、体に痛い所や気になる所がないか、すでに受診している病気がないかといったことを記入してもらいます。

学校では担任、養護教諭が調査票を確認し、異常があれば学校医に伝え、健診

象となります。具体的には①背骨が曲がっている②腰を曲げたり、反らしたりすると痛みがある③片脚立ちが5秒以上できない④しゃがみこみができない⑤肘に痛みや動きの悪い所がある⑥上肢に痛みや動きの悪い所があるの6項目を調べます。

実情です。運動器は専門外で、医師には多大な負担となるのが予想されます。そこで本県では、次のような流れで運動器健診を行います。健診前に児童・生徒の家庭に保健調査票を配り、保護者に子どもの心身の健康状態について記入してもら

時に学校医が異常項目について診察します。学校医が2次検査を必要と判断すれば、専門医への受診を勧める報告書が家庭に届くようにしています。運動器健診が加わった背景には、運動する子としない子の二極化が進んだことがありま

す。年ごろをピークに子どもたちの体力、運動能力が低下し、運動不足による肥満傾向や小児生活習慣病が問題化したのです。一方で、スポーツが盛んになり、運動過多により運動器障害を起こす児童・生徒も見られるようになりました。健診はそうした児童・生徒を早く見つけ、適切な指導を行うことを目的としています。本来、スポーツとは体を動かすことの楽しみを理解し、健全な心と体の発育、発達を促すものです。運動器健診をきっかけに国民全員がスポーツの本来の目的を再認識し、生涯、スポーツに関わりながら、健康で長生きできる社会をつくる

(県医師会)

### 質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。